

生殖補助医療技術キャリア養成特別コースの設置について

医学部保健学科・農学部

1 生殖補助医療技術者とは

「生殖補助医療技術」とは、不妊患者から精子や卵子などを体外に取り出し、受精させ、得た受精卵を母体に戻す医療技術を指し、「生殖補助医療技術者」は、それらの技術を有する技術者の総称である。日本では、日本哺乳動物卵子学会が認定する「胚培養士」（約 800 人）や日本臨床エンブリオロジスト学会が認定する「臨床エンブリオロジスト」（約 300 人）が医師の下で生殖細胞の処理や受精、凍結保存、培養などの業務を行っている。

2 生殖補助技術キャリア養成特別コース設置の目的

生殖補助医療技術開発の歴史的経緯から、胚培養士や臨床エンブリオロジストと呼ばれる生殖補助医療技術者は、コメディカル領域の医学部保健学科系出身者に加え、農学部応用動物科学系出身者が相当な割合を占めている。これらの生殖補助医療技術者を志望する学生に、医学部保健学科及び農学部を横断して形成された教育組織を中核として、不妊治療機関でのインターンシップなどを盛り込んだ教育カリキュラムを全国の大学に先駆けて提供し、医療現場の基本的知識と即戦力となりえる諸技術を兼ね備えた人材を養成することを目的として、「生殖補助医療キャリア養成特別コース」（以下「特別コース」という。）を医学部保健学科及び農学部設置するものである。

3 特別コース設置の社会的要請及び設置の背景

我が国の夫婦の7組に1組が不妊と言われ、少子化を克服する大きな障壁となっている。現在、これらの患者の不妊治療を行っている医療機関において、生殖補助医療技術者が医師の治療をサポートしている。社会的要因による晩婚化・晩産化が進み、さらには環境要因も加わっていく中で、今後も不妊治療の必要性は高まることが予想され、生殖補助医療技術者のニーズは更に高まっていくと考えられる。

しかし、現状では、生殖補助医療を支える質の高い技術者を養成するための体系的な教育環境は整っておらず、農学部では、特定の研究室に配属された学生には生殖補助医療技術を習得させるものの、医療系の衛生概念や感染症に関する知識など医療現場で要求される基礎知識を得る機会が無く、一方で医学部保健学科では、医療現場に必要な知識や技術を習得できるが、生殖補助医療技術を学ぶ機会がない。そのため、就職後に医療現場でそれぞれ欠如している知識や技術を習得しているのが現状であり、生殖補助技術キャリア養成の教育体制の早急な整備が求められている。

農学部は、これまで生殖補助医療技術分野に多くの人材を輩出（全国3位、国立大学では第1位）してきた草分け的存在であり、毎年数名は生殖補助医療技術者の道を進む者がいる。また、この中には、臨床エンブリオロジスト学会理事長を務める者を含め、西日本の不妊治療機関を中心に大々的に活躍している者が多数おり、この分野への人材輩出に果たす岡山大学の役割は極めて大きい。本学において、生殖補助医療技術に関する体系的なキャリア養成特別コースを全国の大学に先んじて学部レベルで整備することは、さらに本学の存在と使命を高めることにつながり、極めて重要と考えられる。

4 特別コース設置による効果

地域の不妊治療を実施する医療機関との連携の中で、特別コースを医学部保健学科と農学部を横断的に構築した教育組織を中核として実施することにより、それぞれの組織が得意とする部分を統合させることが可能で、より質の高い専門技術者教育を実施できる。そのこと

で、使命感と専門能力の高い生殖補助医療技術者を輩出することができ、我が国の不妊治療の更なる質的向上に貢献できる。

5 特別コースの概要（別紙参照）

1) 定員 医学部保健学科と農学部合せて原則10人

2) 履修対象者

① 医学部保健学科の特別コースの履修対象者

- ・医学部保健学科の学生
- ・大学院保健学研究科博士前期課程の学生

② 農学部の特別コースの履修対象者

- ・農学部の学生
- ・大学院環境生命科学研究科博士前期課程（農学系）の学生

3) カリキュラム

【特別コースの授業科目】

科目区分	授業科目名	単位数	修了要件 単位数	開講学部	備考
必修 科目	保健科学入門	2	2	医学部開講科目	
	医療経済学	2	2	医学部開講科目	
	感染免疫学	2	2	医学部開講科目	
	動物生殖生理学	2	2	農学部開講科目	
	動物発生工学	2	2	農学部開講科目	
	生殖補助医療学	2	2	農学部開講科目	チーム教員＋生殖補助医療関係者、生命倫理を含む
	応用動物科学コース実験Ⅰ	2	2	農学部開講科目	
	生殖補助医療技術実習	2	2	農学部開講科目	生殖補助医療機関での実習
選択必 修科目	基礎遺伝子学	2	2	医学部開講科目	遺伝学関係の2科目から 1科目選択
	基礎遺伝学	2		農学部開講科目	
	基礎病態学	2	2	医学部開講科目	内分泌学関係の2科目から 1科目選択
	動物内分泌学	2		農学部開講科目	
	感染看護学	1	1	医学部開講科目	感染症関係の2科目から 1科目選択
	感染予防学	1		医学部開講科目	
合計単位数			21		

4) 修了要件 3)「カリキュラム」に掲げる修了要件単位数21単位を修得すること。学部学生はさらに卒業に必要な単位を修得していること。

5) 特別コース修了者には修了証書を交付する。

6) 大学院の学生は、学部の科目等履修生として特別コースの授業科目を履修する。

6 特別コース設置時期 平成25年4月1日

7 その他

特別コース開設に向けたプロジェクトは、平成23年度学長裁量経費及び24年度岡山大学大学機能強化戦略経費に採択され、医学部と農学部の関係教員で準備を進めてきた。既に農学部では平成24年10月から医学部保健学科に先行して、特別コースカリキュラムを実施している。また、平成25年度概算要求にも申請中である。



岡山大学
 【高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実】
 生殖補助医療技術キャリア養成特別コースの開設事業

我が国夫婦の
 7組に1組が
 不妊！



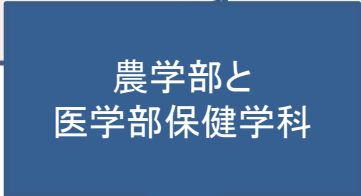
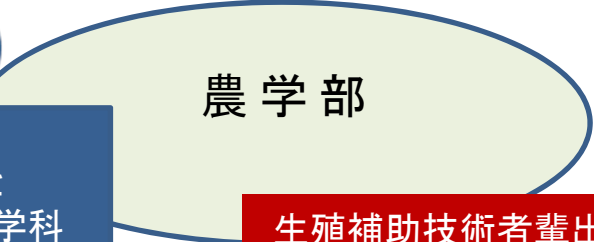
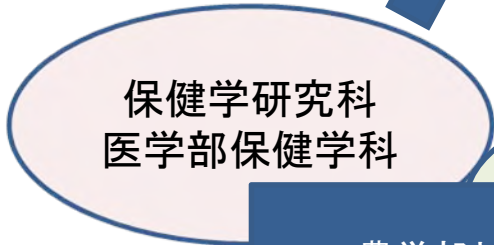
医師の下で生殖補助
 医療技術者が活躍



生殖補助医療技術者

医療の基礎知識あるが
 生殖補助医療技術未習得

生殖補助医療技術習得するが
 医療現場で要求される基礎知識
 が不足



生殖補助技術者輩出数
 は国立大学中第1位！



生殖補助医療技術キャリア養成特別コース開設

学部レベル：
 両学部の良いところ取り⇒生殖補助医療技術キャリア養成